

時間生物学セミナーシリーズ

演題名：脊髄における感覚 - 運動連絡の仕組みをさぐる

演者：今井 文康 博士

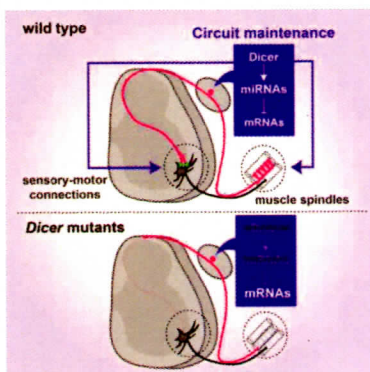
(米国シンシナティ小児医療センター・研究員)

日時：2017年5月19日(金) 15時30分～17時00分

場所：第一校舎6号館206教室

セミナー概要

脊髄の Motor Neuron (運動ニューロン) は筋肉の収縮を介して我々の様々な動きを制御しているが、この運動ニューロンは大脳皮質や脊髄など様々な神経細胞からの入力を受けることが知られている。そのうちの一つである感覚神経は皮膚や筋肉の情報を運動ニューロンに伝えることで運動ニューロンの活動を調整し行動制御に関与している。我々はこの感覚神経の発生、回路形成およびその維持のメカニズムに着目しており、反発分子として知られる Semaphorin/Plexin シグナルが神経回路形成に、また低分子 GTP 結合タンパク質である Cdc42 がシナプス形成に関わること、さらに、この神経回路維持に遺伝子の発現の制御に関わる microRNA が重要であることを報告してきた (Imai F et al., Cell Rep 2016; Imai F et al., J Neurosci. 2016; Wehner AB et al., Development 2016)。本講演ではこの感覚-運動回路の形成および維持の分子メカニズム、さらには歩行時における機能についての最新の知見を紹介したい。



<演者紹介>

今井 文康 博士 (医学)：米国シンシナティ小児医療センター・研究員
1999年明治大学農学部卒。2006年横浜市立大学医学研究科博士課程卒業後、沖縄科学技術大学院大学 (OIST)・研究員を経て、現在、シンシナティ小児医療センター発生生物学部門に所属。

今井博士は Cell Reports, Nature Communication などの一般誌をはじめ、Development, J Neuroscience などの専門誌に多くの論文を発表している。

※今井博士は本学部出身の研究者で長くアメリカで活躍されています。学生の皆さまの今後の研究や研究生活に役立つ内容 (情報) が多いと思います。皆さまのご参加をお待ちしております。

連絡先：農学部動物生理学研究室 中村孝博 (5-405、内線7823)